

帯広東ロータリークラブ会報



2018-2019年度

帯広東ロータリークラブ

会 長 益子 裕之

幹 事 池田 誠

メディア委員長 加藤 雄樹

「前進への挑戦」

第1622回例会

平成30年8月21日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認証：1984年6月18日 ■例会：毎週火曜日 12:30～13:30

■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場：ホテル日航ノースランド帯広

y.Kato



2018-2019年度 国際ロータリーテーマ
【インスピレーションになろう】
2018-2019年度国際ロータリー会長
バリー・ラシン

ガバナーテーマ
【行動するロータリー、つながるロータリー】
国際ロータリー第2500地区 ガバナー
細川吉博

月間テーマ
【会員増強・新クラブ結成増進月間】

- ◎起 立 齊藤蓮輝 SAA
- ◎友情の握手 齊藤蓮輝 SAA
- ◎点 鐘 益子裕之 会長
- ◎開会宣言 齊藤蓮輝 SAA
- ◎ロータリーソング (奉仕の理想)
- ◎ゲスト紹介 益子裕之 会長
大樹町 航空宇宙推進室長 黒川 豊 様
- ◎ビジター紹介 加藤武志 副会長

8月結婚記念日を迎える会員 親睦活動委員長

西田重人 会員 昭和50年8月8日

8月誕生日を迎える会員 親睦活動委員長

長谷川晃三 会員 大正9年8月10日

加藤昭治 会員 昭和19年8月5日

西田重人 会員 昭和23年8月1日

古川直也 会員 昭和26年8月28日

◎パースデーソング 親睦活動委員会

◎乾 杯

◎会 食

会長挨拶 益子裕之 会長



皆さんこんにちは。先日5クラブの会長・幹事会がございまして楽しいお酒の席もございましたが、この席上でポリオの話題が出ておりました。ロータリアンとしていつもポリオ、ポリオと耳にする言葉であります。今日は会長挨拶

の中で1～2分ポリオについてお話をさせて頂ければと思っております。

国際ロータリークラブの活動分野皆さんもよくご存じの通り、平和の推進・疾病との闘い・水と衛生・教育支援・母子の健康・地域経済の発展ということで、国際ロータリーの活動分野はこの6つの分野に分かれてございます。その中で疾病との闘いの中で、ポリオの撲滅というのがロータリクラブの大きな目的になってございます。

そもそもポリオとは何ぞやということですが、簡単に言いますと皆様もよくご存じのとおり、昔の言葉で小児麻痺ということになります。広い意味では脳性小児麻痺を含めポリオウイルスによって発症する、脊髄・延髄・脳の冒される伝染病これがポリオの実態でございます。

そのポリオを撲滅するために国際ロータリーは、ワクチンを推奨して資金を支えるというのが、長年にわたるロータリクラブのポリオ撲滅運動でございます。

そのポリオの撲滅に最近では携帯電話がもの凄い力を発揮しておりまして、何故かと申しますとポリオが最も多く発生する地域は非常に物事を伝達することができず、医療の局面でももの凄く苦勞している実態に携帯電話を数千台提供することによりまして、ポリオの症状・ウイルスの問題が携帯電話で中央医療と随時情報交換できる、大きな成果を上げているのが実情でして、国際ロータリーもこのポリオがまだ残っている地域に対して、携帯電話を今後五千台以上提供してポリオに限らず、あらゆる疾病に対して有効な手段になるようにという動きがここ数ヶ月の間動いていると聞いてございます。

ポリオの話でございますが実は、11月に市内の5クラブが帯広市役所のロビーにおきまして、ポリオのパネル展示および映像を交えたポリオについての情報発信を1週間に渡りすることが決定してございます。当帯広東クラブは11月30日金曜日、東クラブが主催をしまして帯広市役所の1階ロビーで、市民の皆さんに向けてロータリ

ークラブの覚悟そしてポリオの実体を皆さんにお知らせすることになっております。

入会年度の浅い会員の皆さんにも是非ご参加を頂き、ポリオについて学ぶ大切な時間と考えてますのでよろしくをお願いいたします。

以上会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

会務報告

池田 誠 幹事

◎帯広東RC、移動例会(家族野遊会)開催のご案内

日時 平成30年8月26日(日)午前10時30分
場所 竹中水産
(池田町千代田81-2:千代田堰堤トンネル手前左折)
会費 一家族3,000円
※尚、8月28日(火)の繰上げ例会と致します。

◎帯広東RC、移動例会(職場訪問)開催のご案内

日時 平成30年9月11日(火)午後0時30分
場所 東洋印刷株式会社(西10南9)

◎RⅠ第2500地区大会(帯広)開催のご案内

日程 平成30年9月28日(金)～9月29日(土)
場所 帯広市民文化ホール
《大会1日目(28金)》
記念親睦ゴルフ大会 8:30～ 帯広国際カントリークラブ
《大会2日目(29土)》
登録受付 8:30～ 帯広市民文化ホール
本会議(午前の部) 9:00～12:00 帯広市民文化ホール
本会議(午後の部) 13:00～17:30 帯広市民文化ホール
大会記念大懇親会 18:00～19:30 ホテル日航ノースランド帯広

◎例会終了後、定例理事会を開催致します。

委員会報告

親睦活動委員会 大池梨華 委員長

8月26日(日)午前10時30分より、千代田堰堤の竹中水産で、1家族三千円の会費で釣り堀と焼肉をさせていただきますので、皆様お待ちしておりますので、よろしくをお願い致します。



委員会報告

青少年奉仕・ローターアクト委員会 及川武一 委員長

ローターアクト委員会からのご協力をお願いします。8月26日当クラブの家族野遊会とぶつかっているのですが、帯広ローターアクトクラブ第23回12時間チャリティーソフトボール大会を、開催することになっています。

当クラブは欠席で出しているのですが、チャリティー品のご協力をお願いをしたいということで、何かありましたらご協力の程お願いします。よろしくお祈りします。



プログラム

会員増強・ロータリー情報委員会

【ゲスト卓話】

テーマ:【十勝の夢 大樹町の宇宙開発について】

大樹町 航空宇宙推進室長 黒川 豊 様

大樹町で航空宇宙推進室長と商工観光課長と企画商工課長を兼任しております黒川と申します。どうぞよろしくお願い致します。



お手元に3部の資料をご用意させて頂きました。パワーポイントの物と多目的航空公園のパンフレットと29年度の活動報告書でございますので後程お目通し頂ければと思います。

パワーポイントに従いまして話しさせて頂きました。現在の多目的航空公園の概要の説明を受けました。

大樹町の概要は酪農と漁業の町という事でございまして、人口は順調に減少を続けております。何とか歯止めをかけたいと思ってる所でございます。

そもそも航空機の取り組みは、何時から始まったのかという事ですけど、昭和59年今から30数年前ですけど現在の日本政策投資銀行の前進の北海道東北開発公庫が、21世紀の東北と北海道でこういう事をやったほうがいいのではないか、委託事業のその中に太平洋側に航空宇宙基地があったらいいのではないかと、これは太平洋側でなければ出来ないという事が書いてまして、その中で人口密集地でなく平坦な土地で、ロケットを打ち上げるだけなら平坦でなくてもいいのですが、当時は日本でもスペースシャトルを作るという動きがありましたので、広いところが必要だったので十勝の海岸線位しかないのかなという事で脚光を浴びました。

オール十勝で組織を作りまして、誘致活動をしたという事がありました。

ロケットが宇宙空間に行くためには、南に打つか東に打つかという事になります。赤道直下で東に打つと静止衛星軌道3万6千キロメートル位に乗せるときは、地球の自転を使って打つと遠心力が強いので赤道直下が有利であるという事です。国際宇宙ステーションなどは上空400キロメートル位ありますので、南極と北極を通過する極軌道、南北に回る軌道になりますその場合は南か北に打ちます。

大樹の滑走路は東にも南にも打てます。広大な土地で人口密集地でないのでいろいろな事がやりやすいという事があります。今小さいロケットを沖合に打って、それを回収する事をしていて、地元の漁師さん達が回収作業等に協力してもらってます。これは実績として10数年やっておりますので、実験として非常にやりやすい環境でございます。新たなことをしますと、そこの方々の理解が得ることから始めなきゃならないので、長いことやっている点では理解は深いというところが評価されてると思います。

誘致運動がスタートしても、航空公園がある辺りは原野でありまして、平成7年に多目的航空公園を作りました。最初は土の滑走路でして6千万位で最初はスタート

しております。これでプロペラ機を持って来ているいろいろ実験ができることでしたので、それでまず始めました。

2000年2002年にはCAMUI型ロケットという、北海道大学の永田先生が開発している、固体燃料で打ち上げる小さなロケットなのですが、通常の固体燃料は火薬を詰め込んでありロケット花火のようなものなのですが、このCAMUI型ロケットの燃料は燃料の固体はプラスチックなので作った段階から保管・輸送に便利であります。ただ推進力を出すのが難しく火薬のように一気に燃えないのですが、そこは形を工夫して液体酸素をぶつけて火が着いたところを一気に燃やすという方法などで使える目途が立っているという事です。そういう打ち上げ実験が2002年から始まっています。

成層圏プラットフォーム計画というので2004年、飛行船ですけどこれは無人であります。70メートルある飛行船です。上空に浮かべて監視カメラやら通信のアンテナいろいろなインターネットや放送局の役割とか、将来的は上空20キロの所に風が吹いてもじっとして、地上とアクセス出来るようにしようという構想です。現時点では上空4キロメートルまで成功しましたが今は実験を一旦凍結しております。

2008年にJAXAと連携協定を結びまして、大気球実験が始まりました。この気球はポリエチレンの袋にヘリウムガスを入れまして、観測地点に浮かべて風任せで飛ばしていく実験でございます。世界で唯一格納庫の中で気球の準備をして、表に出して飛ばすという実験をしております。

2013年にインターステラテクノロジズが会社を設立して大樹町に本社を置いております。現在パート・アルバイトを含めて20名の若者がロケット開発に取り組んでいます。

昨年初めて、これまでは小さなロケットは打ち上げていたのですが、上空100キロまで届く、100キロから宇宙という約束があるのですが、その100キロを目指すロケットを打ち上げて、20キロのところで機体が折れたのですが、空気があるうちは抵抗がありますので、加速すればするほど機体に負荷がかかります。これを越えると空気の抵抗が無くなるのですが、ぎりぎりの所で折れてしまいもう一歩だったのです。今年は4月に打ち上げしようとして機体に不備があり中止をし、6月30日に打ち上げたところ、打ち上げ直後に推力を失い落ちて燃えてしまいました。現在はMOMO3号機に向けて開発を進めていることであります。

多目的航空公園はJAXAさんにもお貸しをしてJAXAさんの実験場の施設であります。

SORAという施設を平成26年に作りました。それまではフリーで来られた方は駐車場で格納庫の外側を眺めて帰られる状況でしたので、何か展示施設のようなもの、見学に来られた方を受け入れる施設が必要だということで、道の補助を頂きまして平成26年4月に大樹町交流センターSORAをオープンしました。

最初のもくろみよりもお客さんが来られるものですから、狭いということで増築をしました平成30年今年の春からリニューアルオープンしました。



主な展示物として

- ・大樹町の取組み(パネル)
- ・大樹町で打ち上げたロケットの実機4機
(カムイ型ハイブリッドロケット、インターステラテクノロジズ社製ロケット「ゆきあかり」「すずかぜ」、東海大学小型ハイブリッドロケット)
- ・JAXAコーナー(実験説明パネル、大気球模型、動画BOX、微小重力実験装置「BOV」実機)
- ・過去に町内で行われた企業や大学の実験等の紹介(映像、パネル)コーナー
- ・インターステラテクノロジズ社製観測用ロケット「MOMO」実物大模型

展示施設の目的としましては、話を聞くだけではなくてロケットを作って飛ばす等、体験学習もしてほしいなということによってしております。広い場所でもありますし、インストラクターも付いていないと危険性もあるので、実際小さな火薬も使い打ち上げを行います。大変盛り上がります。こういったことを観光にも繋げていって交流を深めいきたいと思っています。

ロケット以外にもこの滑走路を使いましてヘリコプター・無人機の開発いろんな使い方があります。ソフトバンクがバルーンを上げて携帯の基地局を臨時に作るような実験も行っております。多目的航空公園ですのでいろんなことに使えます。

成層圏プラットフォーム実験というのもやりました。これは大きな取引だったのですけど終わりました。

大気球実験は恒久的な実験ということで毎年行ってます。ただし季節を選ぶので1カ月半位実験をします。風任せな実験なものですから偏西風の良いときでないと実験出来ないで、今年は偏西風が蛇行していて1機も上げられなかったそうです。来年は頑張ると言っていました。

ロケットでは、CAMUI型ロケットあるいは東海大学のロケットを開発しており毎年来ています。小さい物は冬場であれば内陸で回収できますので、小さな物は内陸でっております。

宇宙と呼ばれるのは100キロメートルという事で、国内では100キロ位飛んで無重力を5分位感じて、戻ってくるというような旅行をやるよとするベンチャーもあります。

宇宙のありようも日本も変わってきました、30年前に声を上げた時には宇宙というのは国がやるものだから、種子島・内之浦につづく第3の射場を国が北海道に作ってくれ、ということで誘致誘致といていたのですが、2008年に宇宙基本法が成立してから宇宙はもう国ばかりがやるのではなく、民間も参加するような動きになり、民間も出来るようなルールが出来ました。その代わりにロケットは国が認可するというルールです。

誘致活動をした頃はなかなか北海道で宇宙開発と言えない時代でありましたけど、最近は国会議員の方の後押しもあり大きな声で言える時代になったのですが、逆に北海道でなく和歌山でやりたいとかそのような動きもあります。

そのような動きの中で宇宙開発は活発になってきてい

ます。

アメリカ・中国とかでもそういった小さなロケットの打ち上げサービスもしていて、競争相手もいて市場の獲得合戦にもなってくるので、100キログラムのロケットでつまづいている場合でないのですが、これを越えればどんどんいくのかなと思いつつながら、ベンチャー企業でするので何とか成長したいと頑張っております。

将来的には航空公園も拡大しているいろんな要素に使えるように、したいなあと思っているところであります。宇宙旅行・宇宙ホテルなども動き出しております、大きな経済効果も見込まれるという試算もしております。

町作りにも活かしながら取り組んでいるという事でございますので、大樹町だけでなくオール十勝で取り組んで頂いて応援して頂いた、あるいは北海道全体で応援して頂いた事によって今まで繋がって現在がありますし、これからも益々応援頂いてなんとか発展出来るようにしていきたいと思っておりますので、皆様の応援よろしくお願ひしたいと思います。

ちょっと走った説明で恐縮ですけど、以上で終わらせて頂きます。どうもありがとうございました。



◎閉会宣言

◎点 鐘

齊藤蓮輝 SAA

益子裕之 会長

次週プログラム予定

親睦活動委員会

8月26日(日)「家族野遊会」 於：竹中水産